

中部地域の普及活動（普及活動月報）

令和8年3月 中部農林振興局

（中部農業改良普及センター）

目次

- I 管内農業・農村の出来事や新たな動き (P2~3)
 - 1 令和7年度中部地区農業改良普及事業意見交換会を開催
 - 2 令和7年度SAPアワード開催
 - 3 3月期子牛せり市が開催
 - 4 宮崎中央家畜市場子牛品評会が開催
 - 5 令和8年度一番茶萌芽期調査
 - 6 県営振協果樹部会きんかん剪定講習会が開催
 - 7 JAみやざき南宮崎支店胡瓜部会新規サポート研修会が開催

- II 主な普及指導活動等の取組み
 - 1 プロジェクト（総合、専門）に関する普及活動 (P4~6)
 - 1 青年等就農計画の作成支援
 - 2 宮崎市SAP会議佐土原支部役員会開催
 - 3 綾オーガニックスクール卒業式(第2期生)
 - 4 宮崎市SAP会議佐土原支部総会が開催
 - 5 新木地区基盤整備事業推進委員会が開催
 - 6 中部地区露地野菜担当者会を開催
 - 7 中部地区営農振興協議会野菜部会連絡会議を開催
 - 8 JA綾町地区本部施設きゅうり栽培講習会が開催
 - 9 JA宮崎中央地区本部トルコギキョウ研究会作付検討会及び現地検討会が開催
 - 10 JA宮崎中央洋ラン部会現地検討会が開催

 - 2 プロジェクト（総合、専門）以外の普及活動(一般活動) (P7~8)
 - 1 農業経営者サポート事業専門家相談会を開催
 - 2 イタリアンライグラス奨励品種試験収量調査
 - 3 うまい米づくり研究会育苗現地検討会の開催
 - 4 国富町深年飼料用稲採種組合講習会の開催
 - 5 JA宮崎中央地区本部ベビーハンス研究会現地検討会が開催

I 管内農業・農村の出来事や新たな動き

1 令和7年度中部地区農業改良普及事業意見交換会を開催

17日、農業経営指導士4名、関係機関8名に出席いただき、令和7年度普及指導活動実績および令和8年度以降の普及指導活動計画について、意見交換会を開催しました。

この会は、普及センターの1年間の活動成果や進捗状況について報告し、評価いただくことを目的として開催しています。今年度は現在の普及計画の最終年度にあたり、出席者からは、スマート農業や新規就農者の育成や有機農業、飼料用作物の確保等、幅広くご意見をいただきました。

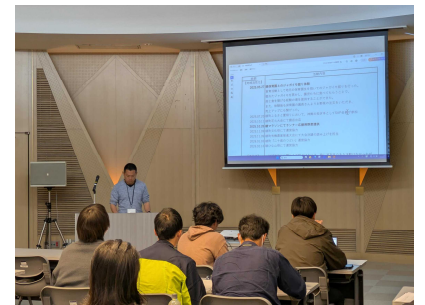
いただいたご意見を踏まえ、来年度以降の業務に活かしていきます。



【意見交換会】

2 令和7年度SAPアワード開催

11日、宮崎県庁県電ホールで開催され、県内の市町SAPの代表が集まり、1年間の活動報告を行いました。宮崎市SAPと綾町SAPも発表を行い、綾町SAP会議が優秀賞を受賞しました。会員数の伸び悩みや、活動休止するSAPも見られる中ではありますが、意欲的に活動を続ける宮崎市SAPと綾町SAPを今後も支援していきます。



【発表する綾町SAP会議】

3 3月期子牛せり市が開催

9日と10日の2日間、宮崎中央家畜市場で開催され、合計563頭（雌：276頭、去勢：296頭）の出場がありました。

せり前講習会では、JA畜産部長から概況等の説明、続いて普及センターから「繁殖成績を底上げ”フレッシュチェック”」と題して講習を行いました。合わせて、韓国における口蹄疫の発生と、各農家での農場防疫の強化を啓発しました。

子牛平均価格（税込）は、雌799千円（前回比24千円高）、去勢909千円（前回比35千円高）、総平均857千円（前回比34千円高）という結果になりました。



【研修会に参加する生産者】

4 宮崎中央家畜市場子牛品評会が開催

13日、JAみやざき宮崎中央地区本部と綾町地区本部との合同開催による4月期子牛せり市に向けた3月期子牛品評会が家畜市場で開催されました。

審査の結果、高岡支店の下錦田輝氏の「さくら321」号（勝美利産子）が優等1席を受賞しました。審査委員長の講評では幅、深さ、高さが十分で前中後軀の釣り合い、雌牛らしさを美点として評価されていました。



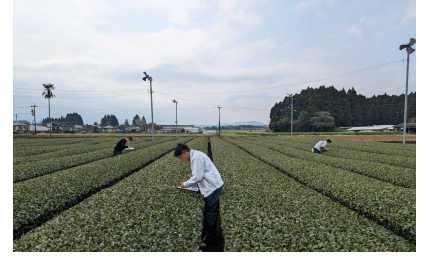
【優等1席「さくら321」号】

5 令和8年度一番茶萌芽期調査

18、24日の両日、関係機関とともに、管内茶園を巡回して調査しました。

各茶園の萌芽状況や生育状況を確認した結果、一番茶の収穫時期は、「例年よりもやや早い」と予測しています。

今後も関係機関と連携し、収量や品質の安定に向けて継続的に支援をおこなっていきます。



【萌芽期調査の様子】

6 県営振協果樹部会きんかん剪定講習会が開催

5日、宮崎市高岡町において、関係機関（果樹関係指導員等）22名が参加し、開催されました。JAみやざき宮崎中央地区本部のきんかん担当指導員が講師となり、剪定実演を実施後、参加者が実際に剪定実習を行いました。剪定実演では当管内の剪定の特徴等の説明もあり、剪定実習では、各地域の剪定状況等の意見交換も行いながら、熱心に行われ、有意義な研修となりました。



【剪定講習会】

7 JAみやざき南宮崎支店胡瓜部会新規サポート研修会が開催

6日、清武町現地ほ場において、新規就農者及びJA指導員約10名が参加し、研修会が開催されました。

研修会では、JA指導員の進行のもと、現在取り組んでいる生育調査の結果をもとに各生産者の現在の生育バランスや今後どのように管理していこうと考えているか等について意見交換が行われました。その後普及センターからは、少雨時のかん水管理や春先の長雨を想定した温湿度管理等について講習を行いました。

さらに夜の懇親会では、JA指導員から他のベテラン生産者の勉強会グループの生育調査結果の紹介があり、参加者は非常に熱心に聞いていました。引き続き、関係機関と連携し、新規就農者の早期経営安定を支援してまいります。

II 主な普及指導活動等の取組み

1 プロジェクト（総合、専門）に関する普及活動

【総1・中部地域の農業を未来へつなぐ農業者の確保育成】

1 青年等就農計画の作成支援

3月は2名の就農計画作成支援を実施しました。それぞれ就農予定者との相談をとおして、中長期的な視点で計画を考えるように促しました。

2 宮崎市SAP会議佐土原支部役員会開催

10日、宮崎市佐土原総合支所で開催され、3月31日に開催される支部総会や、新年度役員について協議が行われました。佐土原支部では今年度、3回の学修会を実施しており、次年度も引き続き実施予定となりました。勉強熱心なSAP会員を今後も支援していきます。

3 綾オーガニックスクール卒業式(第2期生)

18日、綾町有機農業開発センターにおいて、第2期生(3名)の卒業式が開催され、卒業生からは、将来の経営ビジョンについて発表が行われました。

今後、就農初期の経営安定に向けフォローアップ支援を続けていきます。



【卒業式】

4 宮崎市SAP会議佐土原支部総会が開催

31日、宮崎市佐土原総合支所で行われ、15名が出席しました。令和7年度活動実績と令和8年度事業計画が承認されました。

総会終了後、普及センターからSAP会員に対して、令和8年度の活動支援に向けたアンケートを実施しました。アンケートの結果から会員の要望も取り入れ、経営者としてもSAP会員が活躍できるように支援していきます。

【総2・集落モデル育成による持続可能な水田営農の展開】

5 新木地区基盤整備事業推進委員会が開催

4日、跡江新木地区公民館で、開催されました。協議では、営農計画や将来の担い手について打ち合わせしました。普及センターからは、営農計画の策定のために表作で水稲以外の品目を作付けした場合の収益試算や作業時間試算を提案しました。今後も地区の合意形成に向けて支援していきます。

6 中部地区露地野菜担当者会を開催

6日、中部普及センターにおいて、開催しました。加工業者等から得た需要動向や卸売市場の実績に基づいた有望品目について情報を共有しました。また、基盤整備予定地区の水田裏作利用に向けた活動状況を説明し、ニーズの高い品目を中心に、機械化や効率的な作付体系の構築等を重点的に検討しました。今後も継続的に露地野菜振興に取り組みます。



【露地野菜担当者会】

【総3・施設園芸版スマート農業による高収益園芸産地の育成】

7 中部地区営農振興協議会野菜部会連絡会議を開催

13日、中部農業改良普及センターにおいて、関係機関18名が参加しました。この会議は、中部地区の野菜品目の振興にあたり、品目横断的な課題への対策や個別品目の対策の方向性について協議するものです。今回は、令和7年度普及実績に関する話題として、今後普及すべき技術・施設等に関する方針や中部版経営管理指針（施設きゅうり雇用型）について協議するとともに、みやざきデジタル施設園芸構築事業（Dプロ）の今後の方向性について意見交換を行いました。関係機関の情報交換の場として、次回は6月に開催する予定です。



【連絡会議】

8 JA綾町地区本部施設きゅうり栽培講習会が開催

9日、JA綾町地区本部選果場会議室において生産者及びJA指導員約10名が参加しました。普及センターからは、今後の栽培管理と題して講習を行い、今作は非常に雨が少ない条件であること、一方で春先に例年長雨が生じていること等を踏まえ、かん水や温湿度等の基本的な栽培管理を確認する中で、少雨と長雨の両方への対策を説明しました。講習後は特に湿度管理に関する質問が挙がるとともに、会終了後も講習内容について多数の意見交換が行われました。引き続き、今回の質問や意見をもとに、より具体的な管理方法まで理解できるように資料を改善し、収量向上を支援していきます。

9 JA宮崎中央地区本部トルコギキョウ研究会作付検討会及び現地検討会が開催

21日、JA宮崎中央地区本部南宮崎営農センター及び宮崎市の現地において、生産者6名、関係機関5名が参加し、次作の作付け検討会及び現地検討会が開催されました。会長の挨拶後にJAから情勢報告や次作の定植日別の植え付け品種案の説明が行われました。普及センターからは、新規登録農薬試験の結果と新規就農者の研修体制整備の取組について報告しました。生産者間で意見が交わされ、有意義な会となりました。



【現地検討会】

【専6・生産技術向上による花き産地の維持】

10 JA宮崎中央洋ラン部会現地検討会が開催

5日、宮崎市において、生産者15名、関係機関3名が参加し、洋ラン部会の現地検討会が開催されました。現地検討会では、会長挨拶後に、JAからの直近のコチョウランの出荷の情勢報告等について説明がありました。その後、今後の部会活動について検討した後、コチョウランの生育状況を確認し、それぞれの議題について活発に意見交換が行われました。

今後も引き続き生産向上のための炭酸ガス技術等の効果確認試験を行っていきます。



【現地検討会】

2 プロジェクト（総合、専門）以外の普及活動（一般活動）

1 農業経営者サポート事業専門家相談会を開催

12日、農業経営者サポート事業を活用し、経営目標達成に向けた具体的な対応策を検討するため、個別相談会を開催しました。

決算書及び出荷台帳の分析結果を基に、中小企業診断士から経営改善に向けた具体的なアドバイスをいただいたことで、改善すべき点が明確となり、課題の抽出につながりました。

引き続き、課題の解決に向けた支援を継続していきます。



【サポート事業専門家相談会】

2 イタリアンライグラス奨励品種試験収量調査

24日、清武町でイタリアンライグラスの奨励品種試験圃での収量調査を実施しました。

「タチユウカ」、「ワセフドウ」、「ワセパワー」の3品種の草丈や収量等を調査し、概ね順調な生育が確認できました。今回の一番草の刈取後、再生する二番草の生育調査と収量調査の結果を合わせて、品種を評価していきます。



【収量調査の様子】

3 うまい米づくり研究会育苗現地検討会の開催

6日と10日、宮崎市内の同研究会の育苗ハウスで、自家育苗に取り組む生産者12人を対象にJAとともに現地検討会を開催しました。同研究会では特別栽培米で「コシヒカリ」や「ほしじるし」等の生産に取り組んでいますが、生産者からは育苗期間が高温であったため、温度や水管理、苗立枯病予防に苦労したとの意見や今後の硬化期間の管理について質問が出されました。

月末より田植えが始まりましたが、今後もほ場巡回など行いながら良質米の生産を支援していきます。

4 国富町深年飼料用稲採種組合講習会の開催

26日、国富町の深年地区で、標記生産者7人を対象に、8年産「ミナミユタカ」の栽培講習会をJAとともに開催しました。講習会では、近年の高温等障害による作柄への影響に対し、基本管理とともに観察にもとづく適期の病虫害防除、さらには異品種混入等の事故防止の徹底などを説明しました。

今後、移植が4月上旬に行われますが、関係機関と連携して現地指導を行いながら優良種子の生産に努めていきます。



【栽培講習会】

5 JA宮崎中央地区本部ベビーハンズ研究会現地検討会が開催

19日、田野町及び日南市の生産者ほ場において、生産者19名、関係機関4名が参加し、現地検討会が開催されました。田野町のほ場では、会長の挨拶後にJAから情勢報告、剪定方法について説明が行われました。普及センターからは、べと病対策や新規出荷体系での輸送試験の結果、畑かん実証について説明しました。また、生産者間で意見が交わされ、有意義な会となりました。



【現地検討会】

宮崎県農林水産業ナビ
～ひなたMAFiN～
ひなたマフィン 
情報満載！ぜひアクセスを！⇒